



シニア期を迎えた 愛犬との暮らし方と ペット災害対策

HACHI Dog Training 代表
JAHA認定家庭犬しつけインストラクター
山下恵

自己紹介

- JAHA認定家庭犬しつけインストラクター
- HACHI Dog Training 主催
- 個人のお宅を訪問してのしつけ方指導
- 動物病院でのグループレッスン、プライベートレッスン開催




愛犬紹介

ハチ
ポメラニアン ♂
15歳7か月



愛犬紹介

きゆう
雑種 ♀
13歳2か月

本日の内容

- シニア期の変化
- シニアになった愛犬のための暮らしの工夫
 - ①食事
 - ②健康管理
 - ③お手入れケア
 - ④生活環境
 - ⑤散歩
- 災害に備えて

愛犬は今何歳？



シニア期のサイン

身体の変化

- ・白髪が目立ってくる
- ・目が白く濁る
- ・いぼやしこりが出来る
- ・お尻が小さくなる
- ・体形が変わってくる
- ・毛づやがなくなる
- ・口が臭う

シニア期のサイン

行動の変化

- ・寝ている時間が長くなる
- ・歩幅が狭くなる、ゆっくり歩く、立ったり座ったりに時間がかかる
- ・呼ばれても反応しないことがある
- ・息が切れる
- ・物にぶつかるようになる
- ・排泄間隔が短くなる
- ・触られるのを嫌がるようになる

老化を遅らせるポイント

- ①食事
- ②健康管理
- ③お手入れ・ケア
- ④生活環境
- ⑤散歩

食事

食事

- ・何をあげたらいいか
- ・様々なものを食べさせてみる
- ・回数
- ・早食いの犬
- ・食欲が落ちてきたとき



食器台

- ・立った状態で少し首を下げたくらい
- ・足元に滑り止めの

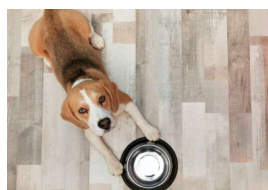


様々なあげ方をしてみよう

- ・おもちゃから
- ・転がして
- ・手から
- ・シリンジで



水



サプリ

- ・薬ではない
- ・獣医師の先生と相談を

健康管理

健康管理

- 日常的な健康診断
- 全身を毎日触る習慣を
- 動画、写真を撮る
- 体重管理
- 犬種別に
なりやすい病気は？
- 心拍数、呼吸数

お手入れ、ケア

お家で出来るケア

- 爪
- 被毛
- デンタルケア
- 目薬
- 温める

爪・被毛

- グライNDER
- ブラシ
- ブラッシングスプレー
- 蒸しタオル
- ドライシャンプー



- グライNDER
- ブラシ
- ドライシャンプー類



デンタルケア

とても大切！！！！けど・・・

- まずはリセット
- 無麻酔×
- 少しずつ、受け入れてくれることを褒めて教えていく
- ワンちゃんが受け入れてくれやすいポジションは？
- 難しければぜひJAHA家庭犬しつけインストラクターにご相談ください



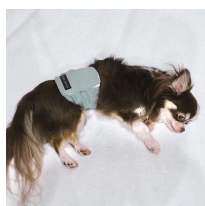


目 薬

- ・いざ必要となった時に慌てないために
日ごろから貯金を！
- ・少しずつ時間をかけて
受け入れてくれたことを褒めて教えていく
- ・後ろからのアプローチ
- ・人肌に温めて

III 冷えを予防、温める

- ・腹巻
- ・お灸
- ・ホットパック



生活環境

III 生活環境

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・滑らない床材 ・犬用ステップ、スロープ ・階段にゲート ・角にカバー | <ul style="list-style-type: none"> ・人感センサーライト ・快適な温度、湿度 ・クレート ・快適なベッド |
|--|---|

事故になる前の予防が大切

階段、角、人感センサーライト、ステップ、快適な温度・湿度



紐に注意！



危険を想像しておく

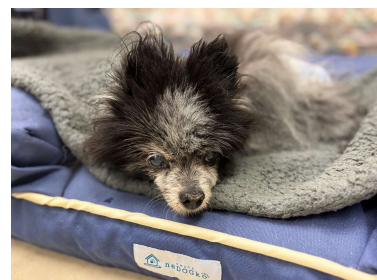


クレートを好きにしよう



快適なベッド

寝ている時間が
長くなります



- ・体圧が分散されるもの
- ・起き上がりやすいもの
→高反発がおすすめ
- ・乗り降りしやすい高さ
- ・清潔に保ちやすいもの



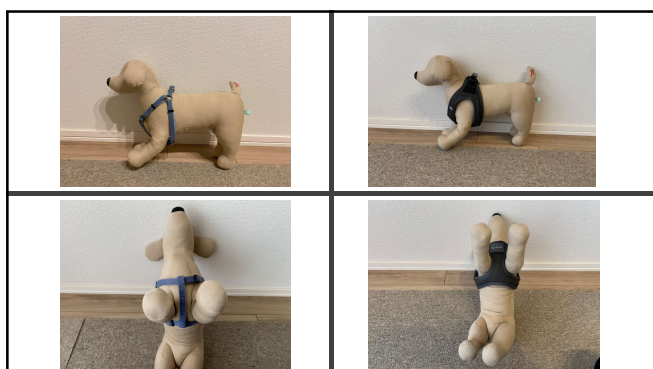
散歩

III お散歩

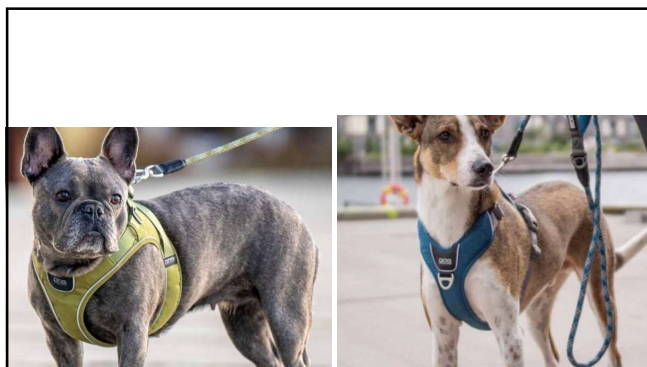
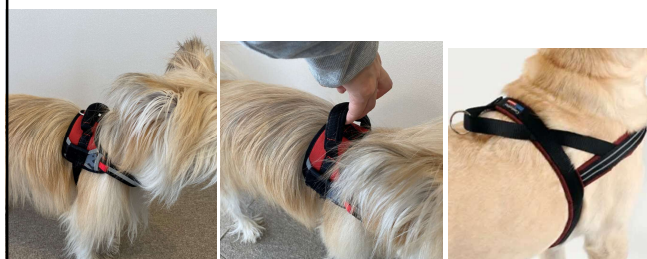
- ・夏は早朝や夜、冬はお天気の良い午後
- ・ウォーミングアップ
- ・犬のペースに合わせて無理なく歩く
- ・抱っこやカートと組み合わせて
- ・散歩コースの工夫
- ・足腰に負担のかからない道
- ・ちょっとしたトレーニング

ハーネスの使用

- ・ふらついた時に支えやすい
- ・リードは短めに持つ
- ・身体に接する面積の大きいものがお勧め



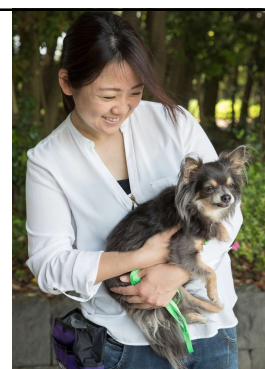
背中にハンドルがあるタイプ



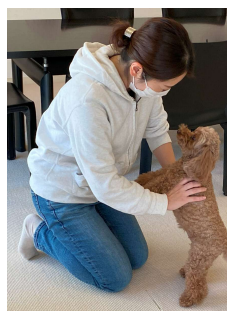
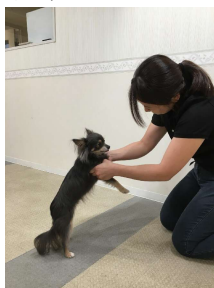


カートや
抱っこと
組み合わせ

身体に優しい
抱き方



やりがちNG



やりがちNG

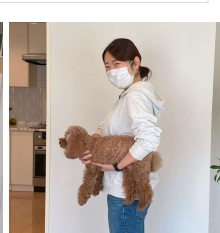
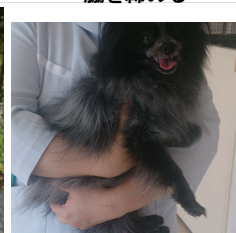


やりがちNG



身体に優しい
抱き方

- 背骨は床と平行かオスワリの角度
- 身体に密着
- 胸とお尻を支える
- 脇を締める



散歩コースの工夫



+αのトレーニング

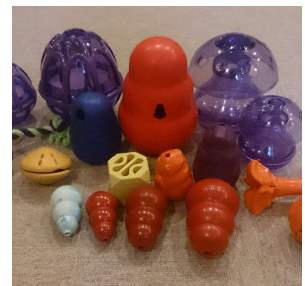
筋トレ

- 人の足の上を通過
- クッション
- バランスディスク



脳トレ

- 知育トイ
 - 日々のご飯を楽しく♪
- 鼻を使った遊び
 - 嗅覚は最後まで残ります



鼻を使った遊び



日本における動物と災害

1995年 阪神淡路大震災
被災累計動物数 犬4300頭 猫5000頭(兵庫県保健環境部調べ)

2011年 東日本大震災 原発からの緊急避難により放置された犬5800頭(未登録の犬や猫を含めるとその倍と言われる)

2016年 熊本地震
2023年 能登半島地震
2024年 南海トラフ地震臨時情報

東京都が2012年に見直した首都直下型地震の被害想定によると、最悪のシナリオでは全半壊世帯数は約30万世帯で、阪神淡路大震災の約6倍の規模に相当する

災害時におけるペットの救護対策ガイドライン

2013年9月

- ・「飼い主の責任による**ペットとの『同行避難』**を原則」とする
- ・飼い主が果たすべき責任は
「**備蓄品の確保、必要なしつけや健康管理を行う**」と責任も明記

ペットを連れていない避難者への配慮やペット自身のストレスの軽減など、飼い主には普段以上に様々な配慮が求められる

環境省「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2506.html

災害の多い国に住むからこそ

- ・災害に備えて普段から出来ること
- ・災害対策に必要な準備
- ・避難が必要になった時に出来ておいたほうが良いしつけ

まずは人の防災!!

飼い主さんが助からなければ動物は救えない

- ・地域の防災計画を確認
- ・ハザードマップ
- ・地域の危険度
- ・住まいの安全度
→家具の転倒・落下防止
- ・平常時の備えといざという時のルール作り、連絡の手段



住まいの防災(動物)

- ・動物たちの飼育場所を考えましょう
いつもペットがいる場所の周りの環境をチェック
 - 外で係留している場合周囲の安全(ブロック塀、窓ガラスなど)
 - サークルで飼育している場合 } サークルの固定、屋根、家具の固定
転倒・落下防止
 - 室内フリーの場合
- ・クレート、ケージなどの隠れ場所(避難場所)の確保
- ・手の届くところにリード、首輪等

情報収集と避難訓練

- ・避難所までの経路と所用時間
- ・危険な場所とう回路の確認
- ・ペット同行避難訓練への参加



家族の話し合いやご近所との連携

- ・家族間の連絡方法や集合場所
- ・血縁、親戚、隣近所に友人、知人はいる?
- ・犬の散歩友達
- ・ネットのつながり、オフ会
- ・様々な地域に住む、動物を介したつながり
- ・ペットの避難方法や役割分担
- ・留守中の対処方法や役割分担
- ・避難先、預け先の確保
- ・「私に万が一のことがあったら自宅のペットをお願いします」と書いた紙を財布などに入れておく

物品の備蓄例1

- ・フード、水、食器
- ・ペットシーツ、消臭剤、臭わない袋
- ・首輪、胴輪、リード、カラビナ
- ・ケージ(クレート)、キャリーバック
- ・ペットの写真、鑑札、マイクロチップの番号
- ・飼い主の連絡先、飼い主以外の緊急連絡先、預かり先などの情報



物品の備蓄例2

- ・処方食、服用薬
- ・ワクチン接種状況、既往歴、健康状態、かかりつけ動物病院などの情報
- ・毛布、タオル、ブラシ、保温出来るもの、保冷出来るもの
- ・ビニール袋、サランラップ、新聞紙、ガムテープ、油性ペン、カッター
- ・オモチャ、ドライシャンプー、ウエットティッシュ



フードと水

- ・食べ慣れているものを備蓄
- ・水の備蓄 50ml/kg/day
- ・食べ物と水はどこに保存する？
- ・食欲があまりない子は
- ・特殊な食べ物を必要とする動物
→ 処方食



- ・ドライフードを食べられるようにしておこう
- ・何でも誰からでも食べられるようにしておこう

少なくとも5日分、できれば7日以上が望ましい

排泄関連グッズ

- ・ペットシーツ
- ・おむつ、マナーベルト等
- ・臭わない袋、消臭剤



首輪・胴輪・リード

- ・普段使っているもの+1つ(名札をつけて)
- ・伸び縮みしないシンプルなもの
- ・閉まるタイプのチョークチェーンやスリップライドは適さない
- ・カラビナがあると係留に便利

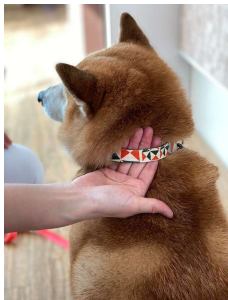


首輪の適切なサイズ

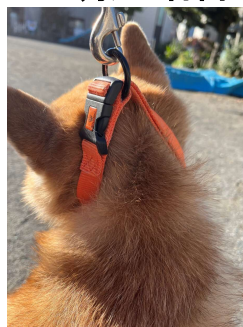
○
指2本が
キツイ



×
指4本



× 三角形の隙間



ケージ、クレート

- ・最初の避難の時は持っていけないことが多いかもしれないが、後から必要
- ・金属やプラスチックなどハードタイプ
- ・避難が長期にわたる場合サイズが重要

迷子対策

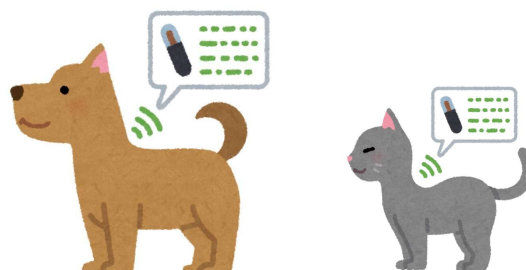
- ・鑑札/済票
- ・迷子札
- ・マイクロチップ
- ・最近の写真
→はぐれてしまった時などポスターを作るため
(携帯に入れておくのが簡単)

所有者明示

- ・鑑札
- ・済票
- ・迷子札
- ・マイクロチップ



マイクロチップ



飼い主さんの情報・ペットの健康に関するもの

- ・飼い主の連絡先
- ・飼い主以外の緊急連絡先、預かり先などの情報
- ・特定の薬が必要な場合はその確保

- ・ワクチン接種状況
- ・既往歴
- ・健康状態
- ・かかりつけ動物病院などの情報



その他のもの

- ・毛布、タオル、
- ・ブラシ
- ・保温出来るもの、保冷出来るもの
- ・ビニール袋、サランラップ、新聞紙、ガムテープ、油性ペン、カッター
- ・オモチャ、ドライシャンプー、ウエットティッシュ

健康管理

- ・狂犬病ワクチン、混合ワクチン
- ・フィラリア症の予防
- ・内、外部寄生虫の予防
- ・避妊、去勢手術
- ・平常時からの予防、持病のコントロール



日常のケア

- ・ブラッシング
- ・歯磨き
- ・爪切り
- ・病院に慣らす



災害に備えて

- ・社会性を身に着ける
- ・クレートトレーニング
- ・排泄トレーニング
- ・おいで
- ・移動手段に慣らす
- ・触ることが出来る
- ・名前を呼ぶと見る

社会性を身に着ける(社会化)

- ・人に慣らす
- ・自宅以外の環境に慣らす
- ・他の動物に慣らす
- 平常心

災害発生時には

- ・パニックに注意
- ・室内で待機(倒壊の危険、津波の危険が無ければ)
- ・犬には首輪とリード、猫はケージへ
- ・同行避難に備える

避難先はどこに

- ・避難所は原則動物立ち入り禁止！?
- ・避難所に入れるかどうかは周囲の理解
- ・避難所で上手く生活するためには

もし避難所に入れなくても・・・

- ・動物救護センター、民間の愛護団体に一時預かりを依頼する
- ・平常時に決めておくことも備えになる

**ペットが動物であることは紛れもない事実
だからこそ飼い主があらかじめ対策を。**

環境省「ペットも守ろう!防災対策」



https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2909a.html



藤沢市 「災害時動物救護マニュアル～ペット飼い主編～」



<https://www.city.fujisawa.jp/seiei/documents/mamualr3.pdf>



ご清聴
ありがとうございました

